

スポーツ in はこだて

函館市体育協会総会

第15代会長に久保俊幸氏（現函館商工会議所副会頭）を選出



当協会の総会を4月23日午後6時30分から、ホテル函館ロイヤルで開催。昨年度の事業、収支報告に続き本年度事業や予算案を承認、役員の変更で久保俊幸会長の就任を決めた。

本年度の活動方針として選手強化及び指導者育成に力を終結し、競技人口の拡大に勤めることが承認された。

久保新会長は「スポーツは生きる活力やエネルギーを得ることができ人々に素晴らしい感動を与えることができる。体育協会80余年の伝統を引き継ぎ会長として誇りを持ってすすめていきたい」と挨拶した。

新役員 会長=久保俊幸 副会長=笹浪博義・白木荘太・本間俊三・近藤健 専務理事=松山幹雄 理事=村田光弘
山科栄子・佐藤正行・清野國安・中西康久・絹野重治・近藤良一・隼人健児・杉浦公三・松本義雄
監事=吉岡隆・市田悦雄

体育協会特別支援事業 2団体に決定

今年度の競技団体に対する特別支援事業は申請のあった函館バレーボール協会と函館卓球協会に決定しました。この事業は著名な選手や指導者を招聘し競技力向上や普及事業を開催する際の費用の一部を補助するものです。

今後希望する競技団体は予算枠がありますので体育協会に相談してください。

函館卓球協会

- ・事業内容 選手や指導者の競技力向上・指導力の向上
- ・平成24年6月30日(土)・7月1日(日)
- ・会場 函館市民体育館
- ・参加予定人員 約600名
- ・講師 仲村錦治郎(1992年バレーボール全日本代表出場)
佐藤昭久(元全日本バレーボール代表)

函館バレーボール協会

- ・事業内容 小・中・高校バレーボール教室
- ・平成25年1月26日(土)・27日(日)
- ・会場 函館市民体育館
- ・参加予定人員 約400名
- ・講師 植田辰哉(バレーボール全日本男子監督)
(予定)他 補助スタッフ2名

函館市市制施行90周年事業 第45回 日本女子ソフトボールリーグ戦第5節 北海道大会

道南ソフト ボール協会 行事紹介

道南ソフトボール協会は、函館市文化・スポーツ振興財団と共催で6月2日(土)・3日(日)函館ホワイティスタジアムで日本女子ソフトボールリーグ戦を開催する。参加チームはシオノギ製薬、デンソー、日立ソフトウェア、戸板中央総合病院の4チームによる総当たりリーグ戦が開催される。

参加選手に2008年オリンピックに出場した日立ソフトウェア所属の西山麗、山田恵里(昨年リーグ首位打者)両選手やジュニア世界選手権等で活躍した若手選手などが含まれレベルの高いプレーが見られると関係者は期待している。



各競技団体の役員の皆さん、是非ご観戦してください。(入場料当日:1,200円 前売:1,000円)

豆知識

相撲の「土俵」について

(函館工業高等専門学校教諭 清野國安)

当初、相撲には土俵はなかったため、押し出しや突き出しといった技術はなかった。土俵が出現したのは1570年頃とされていた。以前は、東西の力士が相撲場を取り囲み、直径4m位に境界線があった。ところが相撲をとる力士と円陣を作っている力士がぶつかることもしばしばで、それが原因でいろいろな問題が生じたため、境界線として登場したのが「土俵」であった。当初は大きな俵に土をつめたものを使っていて、やがてこの俵を小さくして「小俵」とし、土の中に5分の3程埋め込んだ。この時点で境界線である俵の外へ相手を押し出す技術が急速に進歩した。

当初、4m程だった土俵も、その後、力士の身体が、年々大きくなってきたので、昭和6年、これを4.55mに広げた。こうした土俵の出現により相撲は相手を、「倒す」から「押し出すか倒す」競技へと技術の幅を広げ現在のように多くの人が見て楽しめる競技へとなってきたのである。現在の土俵は20の俵によって構成され、東西南北で一俵ずつ外側にずらして埋められているのが「徳俵」で、本来、野外相撲時代の雨水を除くためのものであった。現在では、屋内で行うことが多く、当初の目的ではないものの広がった土俵として力士の守りに有利には働いている。

函館市体育協会 加盟競技団体 紹介

南北海道外洋帆走協会

函館港における外洋帆走の歴史は、明治13年に日本で初めての帆船レースが函館港内で開催された記録が残っている。古くからヨットレースが盛んな所でもありました。南北海道外洋帆走協会は前身を含め古くは昭和30年代頃より活動し、現在では函館近郊はじめ道南、北海道、全国と会員が点在し様々なレースやクルージングを通じ楽しんでいきます。

青函博覧会を機にスタートした青函カップヨットレースはロシアからも参加があり今年25回にもなり様々なドラマを毎年積み重ねています。

ヨットは、一般的には高価な道楽と思われていますが、価格は数十万円から数千万円と幅広いです。数名のメンバーで構成すれば手の届く庶民的なスポーツといっても過言ではありません。自然が作りなす海と風を利用した究極のエコなスポーツです。

当協会のメンバーは45団体、会員数200名で構成され、中学生から80才代まで年齢に合わせた楽しみ方を

しています。

会員募集は随時行っています。緑の島においでの際はクルーに声をかけてください。



函館バウンドテニス協会



ニュースポーツ、バウンドテニスとは硬式テニスのミニ版です。昭和59年北海道第一号の協会として函館バウンドテニス協会が設立され30年近くになります。

当初は全道大会においてメダル獲得は全体の8割を超え、北海道の重鎮として地位を得ていましたが選手の加齢とともに下降してきました。しかし毎年全国大会には必ず出場しダブルス2位などをの成績を収め、函館市よりスポーツ賞を受賞した会員もいます。

会員の親睦を図りながら現在の会員数は40名を越えています。週1~2回の練習をサン・リフレで行ったり、会長杯、顧問杯、南北海道大会、青函交流大会など各行事で活躍しています。

会員は随時募集していますのでバウンドテニスの面白さを味わってみませんか。

Photo・Sports

お知らせ

青函対抗総合体育大会夏季大会

第49回大会、夏季大会の今年度の開催は函館市で7月15・22日に決まった。15種目の開会式は15日、函館市民体育館(卓球会場)で行われる。

高円宮賜杯
少年野球大会



函館
社会人リーグ

